

## 令和3年度 第3回 学校運営協議会

日時 令和4年3月4日（金）

午後7時より

場所 池田中学校 図書室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 学校長あいさつ

4 協 議

(1) 本年度の学校運営について【資料1】

(2) 学校評価について（結果と考察）【資料2】

(3) 来年度の学校支援活動について【資料3】

(4) その他

5 閉 会

【資料1】  
「本年度の学校運営について」

《学校運営の基本方針》

学校目標

- 生徒・保護者との信頼関係を築き、生徒一人一人に寄り添った指導を行う。
- 1人1台端末を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を展開し、学力向上を図る。
- 若手教員の育成を図り、高め合える教職員集団による職場環境づくりを目指す。

- 生徒の良さを認め、成長が話題となる職員室づくり
- 生徒に寄り添い、支え・励ます言葉かけ
- 若手教員からの相談や助言を通じて、組織全体としての指導力の向上

1. 主体的・対話的で深い学びの推進  
(言語活動の充実が図られた授業展開)
2. 「ねらいの提示」「振り返りの設定」「話し合い活動の効果的な実施」「発問の工夫」
3. 端末を活用し、学びの幅を広げ、理解を深める。

「生徒・保護者のアンケート」や「教員の自己評価」からの考察

(1) 生徒・保護者との信頼関係の構築

- 生徒アンケート：「自分のことを理解してくれる先生がいる」で、75%の生徒が肯定的な回答をして、昨年度より6ポイント増加している。
- 保護者アンケート：「困ったことがあったら、学校に相談しやすい」で、66%の保護者が肯定的な回答をして、昨年度より3ポイント増加している。

▲言葉遣いも感情的になると乱暴になったり、生徒を「名前+敬称」で呼ぶように心がけているが、生徒と関わる時間が長くなると敬称を付けずに呼んでしまうことがある。

## (2) タブレットの活用と学力向上

- 生徒：「授業が分かりやすい」と感じている生徒が94%おり、昨年度より13ポイント増加している。
  - 保護者：「学校は勉強を分かりやすく教えている」と感じている保護者が75%おり、昨年度と同じ割合である。
  - タブレットを使った授業に積極的に取り組み、生徒の学習意欲向上に繋げることができた。
- ▲若い先生を中心にタブレットの活用は素晴らしい。デジタル教科書しか活用していないので、使いたい教科書が終わらない恐れがある。

## (3) 若手教員の育成・組織全体の指導力向上

- 昨年度、臨休対策として4つのプロジェクトチームに分かれて対応したことを生かし、今年度も、「企画委員会」「知：学習支援班」「徳：道徳人権班」「体：保健体力班」のチームに分かれ、コロナ禍での学校生活の工夫・改善に向けて協議や活動を行ったり、校内研修でも少人数のグループ協議を行ったりして、研修の話し合いの充実を図った。その結果、若手教員にとっても意見や悩みを出しやすく、若手教員の育成や組織全体の指導力向上に繋がった。
- ▲人を指導するということは難しく、常に気を張っておかないといけないのだと改めて実感した。
- ▲生徒に思いを伝えられる教師になりたい。意欲を高める指導が大切、指導例通りでは高まらない。

保護者の皆様

池田中学校長 中上 齊

「池田中学校の教育に関するアンケート」結果について（お知らせ）

余寒の候、皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育に御理解・御協力いただき、心からお礼申し上げます。

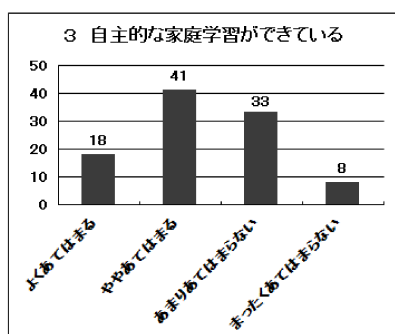
さて、先日実施いたしました「池田中学校の教育に関するアンケート」について、御多用の中、御協力いただき誠にありがとうございました。保護者の皆様からいただいた回答や、生徒アンケートの回答結果を次のようにまとめましたのでお知らせします。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、今後の池田中学校教育に生かしていきたいと考えておりますので、より一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

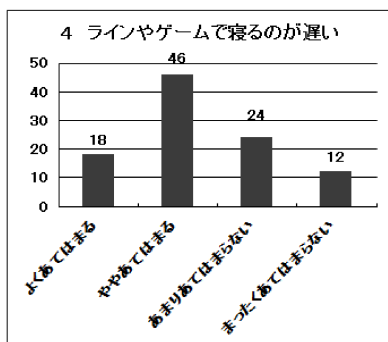
【保護者アンケート結果】（総数217名）

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない (%)

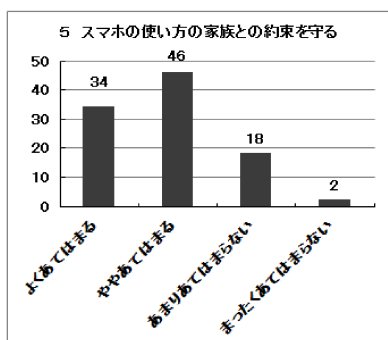
質 問 内 容		①	②	③	④
家庭での子ども姿	1 規則正しい生活を送っている。	20	53	25	2
	2 睡眠時間は十分にとれている。	23	47	29	1
	3 自主的な家庭学習ができている。	18	41	33	8
	4 ライン・ゲーム・YouTubuを見て寝るのが遅くなる。	18	46	24	12
	5 携帯やスマホの使い方家族との約束を守っている。	34	46	18	2
	6 SNSを利用して他の人とトラブルになったことがある。	1	6	20	73
	7 社会の出来事について、家族とよく会話をする。	16	49	29	6
	8 学校の出来事について、家族とよく会話をする。	32	48	18	2
	9 家族の一員として、手伝いをよくする。	11	39	45	5
	10 休みの日は友達と出かけることが多い。	7	28	43	22
	11 命を守る行動について家族で話し合いをする。	16	56	24	4
学校の取組	12 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。	35	47	15	3
	13 学校での活動の様子がよく伝わってくる。	20	55	22	3
	14 学校からの連絡は、分かりやすい。	17	61	19	3
	15 コロナウイルス感染症対応の対策や情報は伝わってくる。	18	58	22	2
	16 学校は人権を大切にされた教育活動に努めている。	16	62	21	1
	17 学校は勉強を分かりやすく教えてくれていると感じる。	13	62	24	1
	18 部活動に熱心である。	40	42	13	5
	19 子どものことを理解しようと努めている。	33	52	12	3
	20 困ったことがあったら、学校に相談しやすい。	17	49	29	5
	21 保護者や地域の意見が教育活動に反映されている。	10	57	29	4



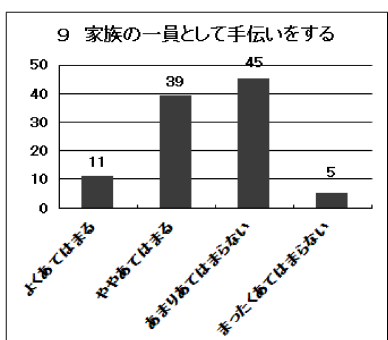
※質問3「自主的な家庭学習ができている」と感じている方が59%で、昨年度より11ポイント減少しています。さらに、生徒への質問3「計画を立てて家庭学習をしている」も65%で、保護者より割合は高いですが、学習できていない生徒も多くいます。自主的な家庭学習に向けて、学習計画を立てる習慣を付け、学習時間を増やしたり、学習内容の充実を図ったりして、改善への指導を進めてまいります。



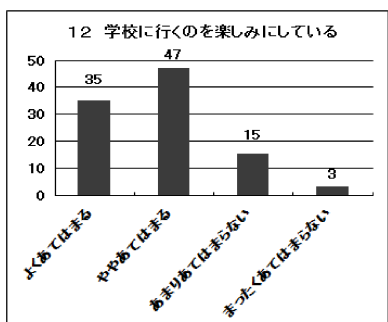
※質問4「ラインやゲームで寝るのが遅い」と感じている方が64%おり、昨年度と割合は同じですが、引き続き高い傾向にあります。また、生徒も同じ質問で61%の生徒が「寝るのが遅い」と答えています。睡眠時間を確保することは、成長期の中学生にとってはとても大切なことであり、さらに、体調を整えたり、元気に学校生活を送るためにも必要なことです。規則正しい生活習慣の確立に、ご協力ください。



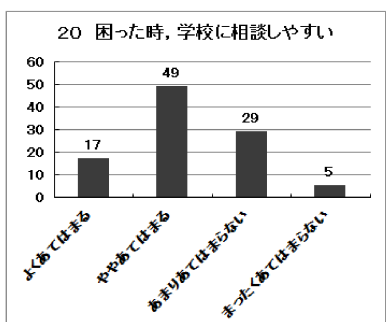
質問5「スマホの使い方の約束を守る」のは80%で、これは生徒の回答とも一致しています。しかし、「質問4」のように、使用時間が長く、寝るのも遅い状況にもあり、「使い方の約束」について再度の見直しをお願いします。学校においては、生徒会による自主規制として、「夜10時以降に使用しないことや、使用は1日1時間以内とする」などのルールを定めています。ご家庭においても、規則正しい生活への環境作りをお願いします。



※質問9「家族の一員として手伝いをよくする」と感じている方は50%で、あまり手伝いができていないようです。学校生活の中でも、生活経験の不足や未熟さを感じる場面があります。生きる力を育てていくことは、生徒の将来にとっても大切です。平日はなかなか難しいかもしれませんが、週末などには、何か1つでも役割を与えて、家族の一員としての責任を果たせるような機会を持たせてください。



※質問12「学校に行くのを楽しみにしている」と感じている方は、82%おり、昨年度より3ポイント増加しています。コロナ禍の中、制約の多い学校生活でしたが、授業もタブレットなども活用しながら楽しく充実した授業が展開されたり、可能な範囲と方法で学校行事などを行って、生徒にも目標を持たせながら取り組ませてきました。保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝しています。



※質問20「困った時、学校に相談しやすい」と感じられている方が66%で、2年続けて3ポイント増加しています。保護者の方と連携をして、生徒を育てていくことが何より大切であると考えています。本校は家庭訪問もなく、さらにコロナ禍で、面談の機会も限られていますが、心配なことがあれば、いつでもご相談ください。保護者の方と一緒に考えて、改善に向けて努めてまいります。

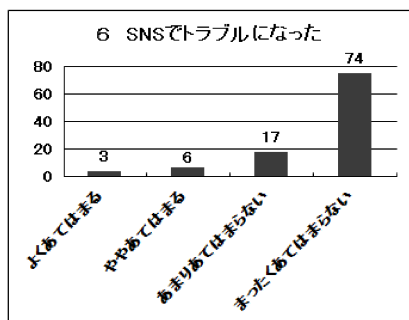
【生徒アンケート結果】（総数 218 名）

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない

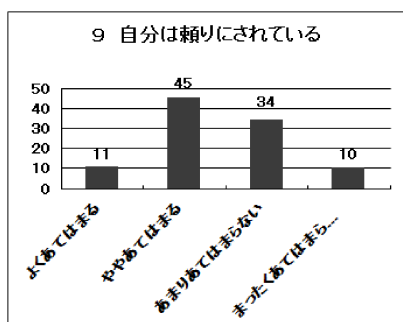
※問 4. の「ライン・ゲーム・YouTubu等で寝る時間が遅い」は持っている人は、④に含める。

※問 5. の「携帯やスマホの家族との約束を守る」は持っている人は、①に含める。

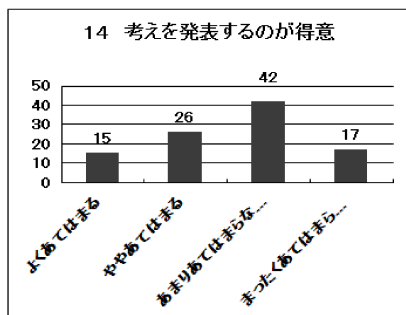
		(%)			
	質 問 内 容	①	②	③	④
家庭や学校での姿	1 朝はすっきりと目覚めている。	17	45	29	9
	2 寝る時間は毎日決まっている。	20	46	25	9
	3 自分で計画をたてて家庭学習をしている。	15	50	29	6
	4 ライン・ゲーム・YouTubu等で寝る時間が遅くなる。	19	42	28	11
	5 携帯やスマホの使い方で家族との約束を守る。	41	40	15	4
	6 SNSを利用して他の人とトラブルになったことがある。	3	6	17	74
	7 地域や社会の問題や出来事に関心がある。	12	45	33	10
	8 自分には良いところがある。	20	49	20	11
	9 自分は頼りにされていると感じる。	11	45	34	10
	10 人の役に立つ人間になりたいと思う。	66	28	5	1
	11 相手のことを考えた行動が取れている。	18	59	21	2
学校での生活	12 学校に行くのは楽しい。	52	35	10	3
	13 学校生活の決まりやマナーを守って生活できている。	53	41	6	0
	14 友達の前で自分の考えを発表するのが得意である。	15	26	42	17
	15 授業中、学習に真剣に取り組むことができている。	35	54	10	1
	16 道徳の授業に意欲的に取り組むことができる。	47	42	10	1
	17 人権学習に真剣に取り組むことができる。	53	41	6	0
	18 授業は分かりやすい。	46	48	5	1
	19 先生の指導のもと部活動に熱心に取り組んでいる。	61	28	6	5
	20 自分のことをよく理解してくれる先生がいる。	38	37	19	6
	21 自分の考えや気持ちを理解してくれる友達がいる。	64	28	5	3
	22 学校生活の中で、人権が尊重されていると思う。	38	49	11	2



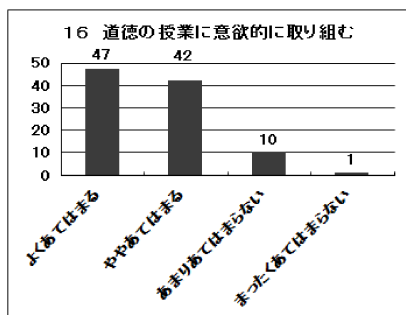
※質問 6 「SNSでトラブルになったことがある」のは 9%で、これは保護者の回答とも一致しています。割合としては少ないですが、ひとたびトラブルが発生すると、SNSの特性として間違った情報が拡散しやすく、問題解決が難しくなることが多くあります。生徒会のルールにも「友達のことを中傷したり、写真などの個人が特定されるものを載せたりしない」と定めています。ご家庭においても、正しく使用できるように、ご協力をお願いします。



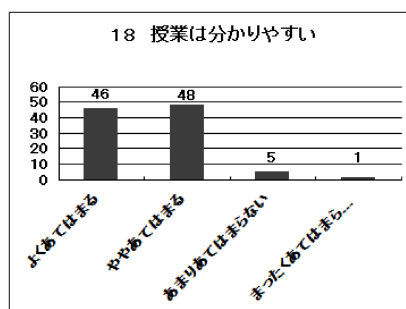
※質問 9 「自分は頼りにされていると感じる」では、56%の生徒しか頼りにされていると感じていません。しかし、質問10「人の役に立つ人間になりたい」と思う生徒が、94%いることから、素直な気持ちで役に立ちたいと考えています。学校では委員会活動や学級の係活動などを通じて役割を果たし、責任感を育てていますが、その活動や成果をもっと声に出して認め、しっかりと評価する必要があると感じています。



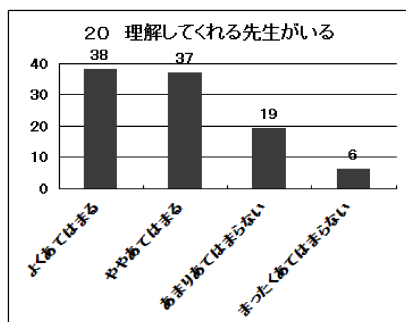
※質問14「考えを発表するのが得意」な生徒は41%で、昨年度から13ポイント増加しています。まだまだ半数以上の生徒が苦手意識を持っていますが、少しずつ得意な生徒も増えてきています。授業や学級での活動の中で、自分の意見を発表したり、グループで意見を出し合ったり話し合ったりする機会を増やしています。将来、社会に出ても自分の考えが伝えられることは、ますます重要になってきます。これからも、互いの考えを尊重する雰囲気大切にしながら、自分の考えを発表することができる生徒を育てていきます。



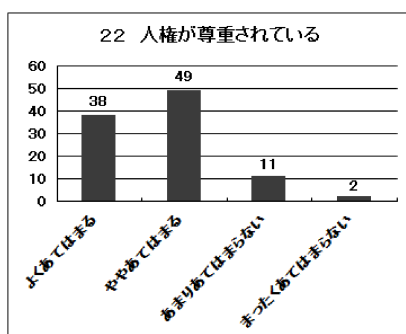
※質問16「道徳の授業に意欲的に取り組む」生徒は89%で、多くの生徒が週1回の道徳の授業を楽しみにしながら、意欲的に取り組んでいます。学校では道徳の授業を担当だけでなく、副担任も一緒に入ったり、交代して授業を行う「ローテーション道徳」なども取り入れています。そして、考え・議論しながら生徒の道徳性を高める指導を行っています。道徳の授業で考えたことや感じたことなどを、家庭での会話に加えていただければと思います。



※質問18「授業は分かりやすい」と感じている生徒は94%おり、昨年度より13ポイント増加しています。昨年度は臨休もあり、授業の進度が早くなったりする状況もありました。そこで、今年度はできるだけ丁寧な説明を心がけ、さらにタブレット等も効果的に活用しながら、生徒の興味を高めて、意欲的に取り組める授業を目指してきました。今後も生徒の集中力を高め、生徒一人一人の学力向上に努力してまいります。



※質問20「自分のことを理解してくれる先生がいる」では、75%の生徒が肯定的な回答で、昨年度より6ポイント増加しています。また、質問21「理解してくれる友達がいる」と回答した生徒も92%おり、高い割合を示しています。教育は、生徒と先生との信頼関係が土台となっのみ成り立つもので、常に自己点検をしながら、自分の言動を振り返り、生徒との信頼関係を築く努力を続けてまいります。



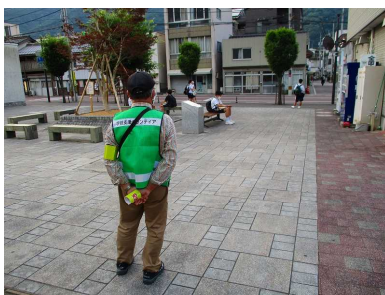
※質問22「学校生活で人権が尊重されている」では、昨年度より6ポイント増加し、87%の生徒が肯定的な回答をしています。しかし、13%の生徒は、尊重されていないとも感じており、その思いをしっかりと受け止め、全教職員が生徒一人一人を大切にしたい教育を推進しなければならないと、強く認識しています。さらに、学級生活や部活動などの中でも、良好な人間関係が築けられるよう、相手のことを思いやり、人格を尊重することができる生徒の育成に取り組んでいかなければならないと考えています。



### 【資料3】

来年度の学校支援活動について  
＜今年度、学校運営協議会で提案し実現した学校支援活動＞

#### ①登下校の見守り（バスターミナル）



＜成果＞

- ・生徒の安心・安全になる。
- ・挨拶や礼儀をきちんとしようとする。
- ・大人の目があるので自分の行動に気をつけている。

＜課題＞

- ・人材の確保。

#### ②技術の授業支援（1年木工・3年電気）



#### ③家庭科の授業支援（2年裁縫）



＜成果＞

- ・専門性が必要な教科なので、複数人で指導でき良かった。
- ・優しく声かけていただき、生徒たちも安心して質問できた。
- ・意欲的に取り組むことができた。

＜課題＞

- ・授業の時間調整（次の時間にかかってしまうことがあった）。

#### ④書き初め大会（全学年8クラス）



＜来年度の学校支援活動について＞

- ①今年度に実現できた活動は継続していきたい。
- ②コーディネーターによるボランティアの方との連絡調整を継続してほしい。
- ③専門性の必要な授業であったり、部活動の指導であったり、地域の方々力を借りることができるが良い。
- ④学校が担う業務が増えているので、いろいろな機関との連携が必要である。